

第34回日本脳神経外科コンgres総会
ランチョンセミナー 1-4 (LS1-4)



5 | 16 金 12:30 ▶ 13:30
2014

第4会場 大阪国際会議場
10F [1001]

〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-51

頸動脈狭窄病変における 脳血流検査の有用性

座 長

岩間 亨 先生

岐阜大学大学院医学系研究科 脳神経外科学 教授

演 者 1

頸動脈病変における各種脳循環動態評価法
(SPECT、MRI、CT)の意義

細田 弘吉 先生

神戸大学大学院医学研究科 脳神経外科学分野 准教授

演 者 2

頸動脈狭窄病変に対するCEA術後過灌流の
管理における脳血流検査の有用性

川俣 貴一 先生

東京女子医科大学 脳神経外科 教授

共 催 | 第34回日本脳神経外科コンgres総会
日本メジフィジックス株式会社

後 援 | 日本脳神経核医学研究会

nihon
medi+physics



第34回日本脳神経外科コンgres総会
ランチョンセミナー1-4 (LS1-4)

頸動脈狭窄病変における 脳血流検査の有用性

About JCNN

日本脳神経核医学研究会について

日本脳神経核医学研究会は、脳核医学に関する基礎および臨床研究の推進とその普及をはかり、それを通じて我が国の学術文化の発展に寄与し、国民の保健と福祉の向上に資すると共に、国際協力につとめることを目的としています。

脳核医学の発展には、放射線科や核医学科において検査を実施する医師や技師に加えて、脳神経外科、神経内科、精神科などで実際の診療に携わる臨床医、装置や医薬品の開発を行う物理工学、薬学、化学などの基礎研究者の協力が不可欠です。本研究会は、これらの学際的な領域の医療関係者や研究者を対象に、セミナーや講演会などを開催して、脳核医学の幅広い普及をめざします。また、脳核医学に関する多くの課題について議論する場を設定して、検査法の確立、臨床使用のためのガイドラインの作成、国際的な枠組みの中で情報交換などを行っていきます。

研究会の会員相互の情報交換には、インターネットを活用して幅広く情報を提供していきたいと考えています。本研究会が主催、共催する行事や関連研究会の案内もホームページでご覧いただけます。会員が情報を共有するとともに、外部に向けて発信できる新しいタイプの研究会を指向して活動を行っていききたいと考えています。この趣旨にご賛同いただき、脳核医学の発展のために、是非本研究会にご参加下さい。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www2.convention.co.jp/jcnn/>

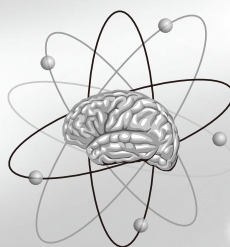
日本脳神経核医学研究会事務局

〒100-0013 千代田区霞が関1-4-2 大同生命霞ヶ関ビル18F

日本コンベンションサービス株式会社内

E-mail: infojcnn@convention.co.jp

Tel: 03-3508-1214 Fax: 03-3508-1302



JCNN